

第8回 館山わかしおトライアスロン大会

レスチューブの装着に関する注意事項およびローカルルール付則

本大会では、膨張緊急浮力体である「レスチューブ」のスイム時の装着はJTU競技規則における禁止用具とみなさないこととします。以下の注意事項を確認の上、ご使用ください。

1 装着に関する注意事項

- レスチューブはスイムの緊急時に浮力を確保するための器具であり、浮き輪代わりにして泳ぐための器具ではありません。泳力に自信のないままスタートとならないよう、練習に励んでください。
- レンタル又は当日購入の方は、大会受付時又はスイム入水時までにはレスチューブコーナーで器具を受け取り、装着並びに使用方法について確認してください。
- スイム入水時までには装着を完了してください。
- レンタル品は、スイムアップ箇所にレスチューブ置き場を設け、回収します。

2 使用に関する事項

- ブイ・コースロープ・サーフボード等につかまり休息することと同様に使用することができます。膨張させたレスチューブにつかまる等の状態のまま前進することは、DSQ（失格）となります。（ローカルルール付則）
- レスチューブを使用して休息している際は、コース端によって静止してください。
- 膨張させて泳ぐ場合は、レスチューブと胴体をつなぐロープが他の選手やスイムコース上の設備に接触しないよう注意してください。（他の泳者と近づいて泳がないこと。またコースロープやブイのロープ等に接触して絡まないよう十分に注意をしてください。）
- 安全に係る器具です。心身の安全に不安を感じたら記録にこだわらず躊躇せず使用してください。なお、器具の使用に係る固有の事故について、主催者は責任を負うものではありません。

3 記録に関する事項

- レスチューブを装着しても使用しなかった場合は完走扱いとし、装着しない場合と同様に計時・順位の記録を行います。
- レスチューブを使用した（膨張させた）選手はスイムアップ時に審判員がレースナンバーの確認をしますのでご協力ください。
- レスチューブを使用した場合には、順位の記録は行わず表彰対象とはなりません。また、リザルト表示は、DNS・DNF・DSQとはせず、通常の完走者の次にRESと表示し計時記録とともに掲載します。